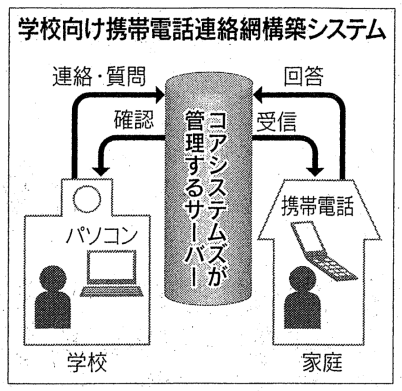
日本経済新聞
産業新聞　2011年（平成23年）7月7日（木曜日）

学校向け携帯メール連絡網

家庭が返答、双方向に

コアシステムズ、災害対応

ソフトウエア開発のコアシステムズ（広島県福山市、都築邦昭社長）は、学校が携帯電話のメール機能を活用して家庭と双方向に連絡できるようシステムの機能を拡充した。質問と回答項目を容易に設定、連絡し、回答内容を把握する「聞き取り調査」機能を盛り込み、災害発生時などの需要に対応できるようにした。システムに関する電話での問い合わせに本社で迅速かつ効率的に応対する体制も整えた。



システム「ラインネット」でこのほど追加した「聞き取り調査」機能は、まず学校がパソコンで「学校に迎えに来ることができるか」など質問項目と、「すぐに行ける」「時間がかかる」など5つの回答項目を作成する。同社が管理するサーバーに質問と回答項目を送ると、児童の親がメールアドレスを登録した携帯電話に一斉に送信される。メールを見た親が送った回答はサーバーに蓄積され、学校は詳細に内容を把握できる。

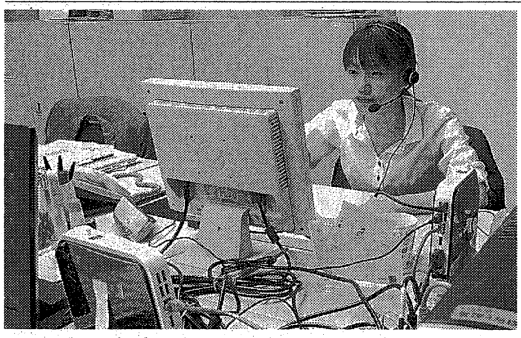
これまでのシステムでは「学校に迎えに来てほしい」とのメールを一斉に送信すると、どの親がメールを見たかしか確認できなかった。追加した機能を利用すれば、情報の双方向性と利便性が高まるという。

災害時だけでなくインフルエンザの流行などで学級閉鎖になっている場合でも「児童の健康状態を正午までに教えてほしい」との質問と「良好」「インフルエンザ」などの回答項目を送ることで効率的に状況を把握できる。利用料金は月額1万円で、従来と変わらない。

ラインネットはコアシステムズの主力商品の1つで、すでに全国の小、中学校を中心に約1000件の導入実績がある。

東日本大震災が発生してから、幼稚園や保育所、高校などから新規申し込みに関する問い合わせに加えて導入済みの学校でも、まだ登録していなかった親から登録方法などに関する電話が増えている。

同社は福山市の本社で原則午前9時から正午までと、午後1時から6時までフリーダイヤルで5人の社員が交代しながら対応。迅速かつ効率的に対応できるように受話器を取らずに回答できる機器を導入した。


電話の受話器を取らずに、問い合わせに対応できる機器も導入した（福山市の本社）

初の民間出身 広島副知事就任

「企業の視点生かす」

広島県の副知事に6日、中下善昭氏が就任した。中下氏はイオングループ傘下のアミューズメント施設運営大手、イオンファンタジー元会長で、広島県では初の民間出身の副知事となる。総務省出身で5日退任した有岡宏副知事の後任。

総務局や商工労働局、農林水産局などを担当する。同日、県庁で記者会見した中下副知事は、「企業の視点、（労働組合書記長などの）今までの経験を生かしたい」と話した。

広島県副知事に就任した中下氏

中下氏は広島県呉市出身。1974年に中大卒業後、ジャスコ（現イオン）に入社し、

韓国人観光客誘致の助言役

広島市立大の金准教授

中国運輸局

中国運輸局は韓国ソウル市出身で広島市立大学准教授の金泰旭氏を観光行政のアドバイザー役に任命した。広島の観光産業に詳しく、日韓両国に人脈を持つ金氏から観光行政に関する助言などを受け入れ環境を整備するための助言などを担う。韓国向けの情報発信方法についても助言する。

同局は駐広島大韓民国総領事館と中国地方の観光振興に関する連携協力の覚書を交わすなど、原発事故後の外国人旅行者の落ち込みに対する施策を相次ぎ実施。金氏の任命により、韓国からの誘客を促進したい考えだ。

倒産、負債額5.5倍

山陰の名産 共同ギフト

島根・鳥取の16社あす発売

最大44種類から選択

ギフト商品販売のフジキコーポレーション（島根県東出雲町、遠藤清社長）は島根、鳥取の山陰両県の食品メーカー16社とグルメギフト商品を共同開発、販売する。山陰の知られざる名産品を同社の店舗やネット販売を通じて市場拡大を図るのが狙い。8日から第1弾の商品カタログを配布開始する。

第1弾では3675円から1万1025円まで4種類の価格を設定。価格により、13～44種類の商品から1点を選べる。消費者は価格を選んでカタログを送付。ギフトを受け取る側はカタログをみて好きなものを選んで受け取る仕組み。仁多米と奥出雲和牛カレーのセット、コーヒーと焼き菓子のセットなど、単品ではギフトにしにくい特産品を組み合わせたのが特徴。

特産品メーカーの多くは中小零細の企業が多く、地元で人気はあっても全国販売ルートを受け取る側は知名度が高いなか増えているという。販売拡大（藤社長）

共同開発数は今年度の既存商品だけでなく、新商品の開発を年間2[illegible]上高を[illegible]